

第18回キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰校が決定！！

本表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA団体等に対して、その功績をたたえるものです。
令和8年1月19日に文部科学省内で表彰式が行われ、本県からは**茂原市立中の島小学校**と**県立成田北高等学校**の2校が表彰されました。

茂原市立中の島小学校

「ふるさと茂原」の自然や文化を愛し、
社会に貢献しようとする児童の育成

キーワード

MIRAI 塾(キャリア教育)

/地域連携/体験活動

/異学年交流

/教科等横断的

取組概要

- (1) 体験活動を主体的に活用できる技能を身に付けるための単元構成の工夫
- (2) 学習過程における対話をとおして考えたことを表現するための授業の工夫
- (3) よりよいまちづくりに主体的・協働的に取り組むことのできる授業の工夫



県立成田北高等学校

「人と命と成田北」医療コースの取組
を中心に

キーワード

医療探究Ⅰ・医療探究Ⅱ

/高大連携

/地域連携

取組概要

- (1) 高大連携を活用した大学講師等による講義及び実習(医療に関する職業理解)
- (2) 地域連携を活用した病院実習や様々な体験活動(実践的なキャリア教育)
- (3) 総合的な探究の時間(医療探究Ⅱ)を活用した探究活動・発表活動(課題探究型キャリア教育)



全国の受賞団体(本県を含む127団体)の取組内容はこちら

【文部科学省ホームページ】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_00022.html



『キャリア教育』に困ったら…

キャリア教育で使用するさまざまな資料を一覧にまとめたWebサイトを作成しました

⇓⇓ 要 Check ⇒⇒

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kyaria/siryou/siryou-index.html>



担当：企画管理部教育政策課キャリア教育推進室

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
第18回キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰校が決定!!	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
令和7年度第10回千葉県教育委員会 会議(定例会)の内容について	3
「つながる Chiba 探究フェス 2025」を 開催しました	4
2026活躍が期待される少年・少女 「チームちば」の紹介	5
子どもと親のサポートセンターの事業 ◆5つの相談窓口の紹介	6
土器ッと古代“宅配便”のご紹介	7・8
体験を通して学ぶ! 「DNA 出前講座」を開催しています	9
県内学校ミニ・ニュース (いすみ市立太東小学校)	10
県内学級担任紹介 (芝山町立芝山小学校)	11
イベント情報(生涯学習課・文化振興課より)	別冊
イベント情報(競技スポーツ振興課より)	別冊
国や県からの情報	別冊

県立東総工業高校が学びの集大成として「課題研究発表会」を開催!

県立東総工業高校は、「千葉で、日本で、世界で活躍する『ものづくり』のスペシャリストを育てる」という理念のもと、DXハイスクール※の指定校として、デジタル成長分野を中心としたカリキュラムを展開し、課題研究に取り組んでいます。

2月5日、その取組の集大成として、各学科の3年生による代表グループが、課題研究の成果を発表しました。どのグループも独創性豊かなハイレベルな発表となり、後輩たちの良い手本となることができました。

当日の発表の様子は、学校HPで公開中です。
是非ご覧ください。



【情報技術科・建築科】

https://cms2.chiba-c.ed.jp/toso-th/blogs/blog_entries/view/20/db870c120e57410a1d7984576a9c2373?frame_id=109



【電子機械科・電気科】

https://cms2.chiba-c.ed.jp/toso-th/blogs/blog_entries/view/20/9f0fe9385cf57e96bb6e576441f78226?frame_id=109



※デジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、必要な環境整備の経費を支援する文部科学省の事業

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。(←ここをクリック)

「つながる Chiba 探究フェス 2025」を開催しました

高校生による探究的な学びの発表会！

12月24日（水）、県総合教育センターを会場に「つながる Chiba 探究フェス 2025」を開催しました。

本フェスは、総合的な探究の時間や課題研究等で実施した探究活動について、生徒が学習成果を発表する場とするとともに、生徒や教員の情報交換の場とし、探究的な学びの推進を図ることを目的としています。

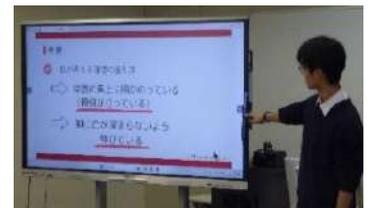
初開催となる今年度は、県立高等学校17校から延べ100名を超える生徒が参加し、口頭発表やポスター発表を行いました。大学や地元企業など、高等学校と連携している関係機関の方々にもお越しいただき、大盛況となりました。

口頭発表24件

口頭発表では、グループや個人が探究した内容について発表を行いました。課題を設定した理由や探究を深めていく学びの過程、工夫、悩みなども含めた説明がありました。研修室内は立ち見も出るほど盛況で、生徒も教員も一体となって真剣に発表に耳を傾け、同じ目線で質問する姿が印象的でした。

<発表テーマ（一部抜粋）>

- ・参考書×子ども食堂 ～繋ぎ、寄り添い、支える未来～
- ・タンポポゴムの量産を目指して
- ・理想の座り方とは
- ・廃棄いちごから商品開発
- ・人の興味を引くキャッチフレーズについて
- ・連分数展開の循環節における周期と規則性
- ・動画や、画像のディープフェイクの見分け方
- ・高校生による古民家再生プロジェクト
- ・「国際イベントに参加して」

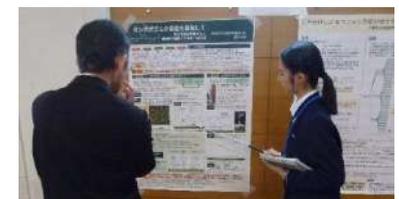


ポスター発表28件

ポスター発表では、発表者が来場者に合わせて説明や質疑応答を行いました。ポスター自体が既に1つの作品のように完成度が高く、ポスターを読んで質問したり、発表者の説明を受けて意見を交わしたりする観客の姿がありました。

<発表テーマ（一部抜粋）>

- ・みつカエル ～拾得物確認アプリ～
- ・ハードル走における最適な踏切位置について
- ・クラシックギターの鋭い音色に関する音響的分析
- ・LLMを活用した学校案内の可能性
- ・実業高校の魅力を伝えよう！
- ・天然パーマは治せないのか？
- ・柏の葉の抗菌作用はどれほど効力を持つのだろうか
- ・海洋プラスチックごみ問題と私たちにできること
- ・防風林の防風効果の解析とビル風対策への応用



お問い合わせ先： 教育振興部 学習指導課

2026活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介

第80回国民スポーツ大会に向けて、「チームちば」の活動が本格的に始動しました。天皇杯・皇后杯の連続入賞に向け、「チームちば」の若き選手たちの活躍を紹介します。

スキー競技

1月10日から1月12日まで、「あおもり国スポ」への代表出場権をかけ、アルペン競技（群馬県鹿沼スノーエリア）と、クロスカントリー競技（長野県野沢温泉村）の千葉県選考会が行われました。

アルペン競技の少年男子では、三賀山嗣穂選手（千葉日本大学第一高等学校）が参加者唯一の36秒台の好タイムをたたき出し、見事4大会連続出場を決めました。

また、少年女子では、中田瑞希選手（市川市立第八中学校）が中学生でありながら見事1位となり、初出場を決めたほか、2大会連続出場となる吉永怜愛選手（東邦大学付属東邦高等学校）、初出場となる原田ほのか選手（松戸市立旭町中学校）の3名が選出されました。



4大会連続出場となる三賀山選手（千葉日大一）



中田選手（市川市立第八中）



原田選手（松戸市立旭町中）

クロスカントリー競技の少年男子では、3大会連続出場となる西上遼選手をはじめ、磯部泰志選手、橋本建選手、柿沼祐希選手（4名とも東邦大学付属東邦高等学校）、澤井暁選手、（東邦大学付属東邦中学校）の5名が、少年女子は小幡都々美選手と阿蘇結月香選手（2名とも東邦大学付属東邦高等学校）が選出されました。

千葉県は雪なし県で練習環境に恵まれない中、選手達は指導者とともに試行錯誤しながら、トレーニングに打ち込んできました。千葉県のウィンタースポーツの未来を担う若き選手達の活躍を期待し、今後も県民の皆様からの熱いご声援をよろしくお願いいたします。



加カントリー-西上選手（東邦大付属東邦）

開催予告

天皇杯・皇后杯連続入賞に向けて がんばれ！「チームちば」！！

第80回国民スポーツ大会 関東ブロック大会（千葉県他）

夏季競技：令和8年6月上旬～8月30日（日）に30競技が実施されます。

第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ2026」

【本大会】正式競技（会期前1回目：水泳・ローイング・ホッケー・ビーチバレーボール・体操・セーリング・ハンドボール・相撲・ライフル射撃・カヌー・クレ射撃・ゴルフ・トライアスロン）

令和8年 9月 3日（木）～ 9月13日（日）

正式競技（会期前2回目：アーチェリー） 令和8年10月 5日（月）～10月 7日（水）

正式競技（本会期：上記以外） 令和8年10月10日（土）～10月20日（火）

お問い合わせ先：スポーツ・文化局 競技スポーツ振興課 電話：043-223-4104

子どもと親のサポートセンターより

5つの相談窓口の紹介

子育ての不安、不登校、学校生活、進路など、教育に関するお悩みに専門のカウンセラーが応えます。児童生徒本人のほか、保護者や教職員も利用できます。

【来所相談(予約制)】

当センターへ来所して相談ができます。

対象:小中高生本人、保護者

申込方法:下記の電話にてお申し込みください。

<電話番号>0120-415-446

【Eメール相談】

メールで相談ができます。

対象:小中高生本人、保護者、教職員

アドレス:saposoudan@chiba-c.ed.jp

※当センターからの返信は数日かかることがあります。

【電話相談】

電話で相談ができます。(24時間受付)

対象:小中高生本人、保護者、教職員

<子サポフリーダイヤル>

0120-415-446

<24時間子供 SOS ダイヤル> (フリーダイヤル)

0120-0-78310 (なやみいおう)

【SNS相談】

LINE を活用して相談ができます。

対象:小(4~6年)中高生

相談方法:右の二次元コードを読み取り、「友だち追加」してください。



【ワンストップ・オンライン相談(予約制)】

Zoom を活用して相談ができます。

対象:小中高生本人、保護者、教職員

予約方法:下記のページから予約できます。

https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online



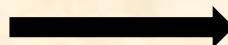
オンライン相談の予約方法

Zoom を活用したワンストップ・オンライン相談 ぜひ、ご利用ください!

保護者の方や教職員も利用できます! 予約方法は以下のとおりです。

- (1) 当センターのホームページへ
- (2) 「オンライン相談」をクリック!
- (3) ページ中央の「予約フォーム」をクリック!
- (4) ご希望の相談日時を選んで予約完了!

※ビデオ OFF やチャット(文字)での相談でも OK



ど き こ だ い た く は い び ん

土器ッと古代“宅配便”のご紹介

～ 体験メニューご案内編 ～

県教育委員会では、歴史や図画工作の授業をサポートするための出前授業「土器ッと古代“宅配便”」（通称「^{どきたく}土器宅」）を行っています。「土器宅」では、県内の遺跡から発掘調査によって出土した本物の土器や石器を学校まで、「宅配」し、文化財の専門職員が解説しながら様々な体験を提供しています。

ぜひ授業やレクリエーションとして活用をご検討ください。

なお、「こんな体験をしたい！」などのご意見も募集中です。

【体験内容】

- ① 展示解説（土器ッと学ぼう） 30～45分
- ② 勾玉づくり 90分 ※要材料費
- ③ 火おこし 30～45分
- ④ しおりづくり・石器体験 15～30分

体験には、4つのメニューがあります。

例えば、①と②、②と③といった2つを組み合わせ、半日の単位で行うことも可能です。もちろん、1コマや1日など、学校やイベントに合わせた時間で活用することもできます。

②の勾玉づくり体験の材料費（1人あたり300円）を除いて、費用はかかりません。



体験の様子

地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

土器ッと古代“宅配便”

歴史の授業で、子どもたちの理解を深めたい。そんなお悩みはありませんか？
勾玉づくりや火おこし、本物の土器を使った体験を出張でお届けします！

対象：小学校1年生～
時間：約15分～30分

対象：小学校1年生～
時間：約15分～30分

対象：小学校1年生～
時間：約90分
材料費：300円/個

対象：小学校5年生～
11～12歳は保護者同伴
時間：4人1組で
約30分～45分

対象：小学校3年生～
時間：約30分～45分

体験の内容を詳しく知りたい方はこちら！ YouTube 「ちばの文化財紹介動画」でも紹介しています。

次ページでは、「土器ッと古代“宅配便”」の申込方法などについてご案内します。

YouTubeで②・③・④の体験
解説動画を現在公開中です！



お問い合わせ先：教育振興部文化財課（四街道分室）
電話 043-424-4849

ど き こ だ い た く は い び ん

土器ッと古代“宅配便”のご紹介

～ 参加申込み編 ～

「土器宅」の来年度の申込は、令和8年3月2日（月）9時から開始です！

例年、6～7月は、社会科（歴史）の授業の導入として予約される学校が大変多くなっていますので、ぜひお早めにお申し込みください。

また、実際に活用する場合の例や、活用した感想も掲載しましたので、ぜひご参照ください。

★申込の方法は、下記の2ステップが必要です。

① 電話で日程調整

（文化財課四街道分室
043-424-4849）

〇〇小学校です。

■月△日をお願いしたいのですが…



② WEBの申込フォームから申請

（マイクロソフト フォームス）

※ 申込開始：3/2（月）9時～

<https://forms.cloud.microsoft/r/1gxdixfw3>



土器ッと古代“宅配便”活用例(学校)

	1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目	5 時間目	6 時間目
例1 (6年生) (3～4クラス)	土器ッと学ぼう (仮工室)	火おこし (体育館)		勾玉づくり (各教室)		
例2 (3年生) (2クラス)		火おこし (体育館)	土器ッと学ぼう (仮工室)			勾玉づくり (各教室)
例3 (6年生) (1クラス)		土器ッと学ぼう しおりづくり (体育館)		勾玉づくり (各教室)		

活用いただいた先生たちの声

歴史の学習が始まり、教科書や資料集で見ていた昔のものが目の前にあり、**遠慮なく立ちまわったり、体験で感じたこと**がとてま学びにつながると感じました。

火おこしでは簡単に火を起すことはできませんでしたが、**手で力を合わせて火をつける**ことができた時の喜びは計り知れません。先人の知恵に驚いた瞬間でした。

当校は1学年5クラスと人数が多く、心配でしたが、問題なくご対応いただきました。**生徒が喜ぶものも少なく**、またおもしろいと思います。



夢中になって磨いて出来上がった勾玉を大切に持っている児童を見ると、**喜びが溢満った**と思います。体験することで、古代の暮らしに思いをはせることができました。

— お問い合わせ・申込み先 —

千葉県教育庁教育振興部文化財課 四街道分室（〒284-0003 四街道市産産809-2）

TEL 043-424-4849（電話にて日程確定後、右記から申込）



展示解説（土器ッと学ぼう）



勾玉づくり



火おこし

お問い合わせ先：教育振興部文化財課（四街道分室）

電話：043-424-4849



公益財団法人

かずさDNA研究所

県内中学・高校教員・公民館向け情報

体験を通して学ぶ！ 「DNA 出前講座」を開講しています

かずさ DNA 研究所では、県民の皆様に DNA 研究の重要性や現状について広くお伝えし、科学への興味・関心をお持ちいただけるよう、さまざまな理科教育支援活動を展開しています。その取組みの一環として、県内の中学・高校・公民館向けに当研究所のスタッフがお伺いして DNA 出前講座を開催しています。

<コース紹介>

Aコース (1コマ最大40名 約50分)

DNAを見てみよう！



ブロッコリーのDNAを観察するとともに各自で身近な食べものからDNAを抽出して、DNAについて学びます。

Bコース (1コマ最大40名 約50分)

マイクロピペットを使ってみよう！



Aコースに加えて、DNAの研究に欠かせない、わずかな液体をはかり取るマイクロピペットの使い方を学びます。

Cコース (1コマ最大32名 約50分、高校生向き)

DNAを大ききさで分けてみよう！



アガロースゲル（寒天ゲル）と電気のかたでDNAを大ききさごとに分離する電気泳動法について学びます。

Dコース (1コマ最大32名 約120分、高校生向き)

DNAを増やしてみよう！



食肉抽出液（ブタ・トリ・ウシ）から、PCR法によるDNA増幅を行い、電気泳動を行って食肉の正体を確認します。

Eコース (1コマ最大32名 約180分、高校生向き)

遺伝子を調べてみよう！



各自の口腔粘膜細胞を採取し、アルコール分解に関わる遺伝子を解析します。



各コースの写真、説明文はかずさDNA研究所HPから引用

- ・ Aコース(50分)：身近な食べ物からDNAを抽出し、DNAについて学びます。
- ・ Bコース(50分)：Aコースに加え、マイクロピペット操作の使い方を学びます。
- ・ Cコース(50分)：DNAを大ききさごとに分離する電気泳動法について学びます。
- ・ Dコース(110分)：食肉抽出液からPCR法によりDNAを増幅し、電気泳動で食肉の正体を調べます。
- ・ Eコース(170分)：各自の口腔粘膜細胞を採取し、アルコール分解に関わる遺伝子を解析します。
- ・ 公民館講座(120分)：身近な食べものからDNAを抽出する実験やマイクロピペット操作体験、DNAキーホルダーづくりを通して、DNAについて学びます。

<募集期間>：令和8年3月2日(月)～4月22日(水)

※応募多数の場合は抽選を行います。

<応募方法>：HPまたは右記QRコードの応募フォームからお申し込みください。

<https://www.kazusa.or.jp/ondemand/>



公益財団法人

かずさDNA研究所

問い合わせ先： 広報・教育支援グループ

電話：0438-52-3930

ホームページ：<http://www.kazusa.or.jp/>

県内学校ミニ・ニュース (いすみ市立太東小学校)

本校のあるいすみ市は千葉県の南東部に位置しています。
この地域は、温暖な気候を生かした梨の早出しが盛んで、大きな実は甘くてみずみずしいのが特徴です。また、サーフィンなどのマリンスポーツも大変盛んです。 【学級数:11学級(特支3) 児童数:219名】



太東崎灯台は九十九里浜の南端に位置し、地域のシンボルとなっています。



学校目標

ふるさとを愛し、夢に向かって
かしこく、やさしく、たくましく生きる児童の育成
～元気に登校、笑顔の下校～



いすみ市マスコットキャラクター
「いすみん」

トピック① 千葉県学校体育研究大会(学体研)夷隅大会 研究発表

本校は、令和7年度千葉県学校体育研究大会での発表に向け、令和5年から研究を進めてきました。11月14日(金)の大会当日は、授業公開、研究報告(及び協議会)でこれまでの成果を発表しました。多くの方が来校され、参加者からは、「子供たちが生き生きと活動している。」「運動量が確保されている。」「友達どうしが主体的・対話的に、そして温かく関わっている。」等の感想をいただきました。

研究主題 「児童一人一人が達成感を味わうことのできる体育学習ー多様な関わり方を通してー」

研究仮説

- 1 児童がめあてを明確にもち、その達成度を効果的なタイミングや方法で自己評価し、成果や課題を振り返れば、自己の成長を実感し、達成感を味わうことができるだろう。
- 2 児童一人一人がスポーツに触れる際に「する・みる・ささえる・知る」の多様な関わり方を意識できる場を設定すれば、個だけでなく他者との関わりの中で達成感を味わうことができるだろう。



6学年「表現運動」



4学年「ティーボール」



サーフィンデモンストレーション



※ サーフィン教室

トピック② コミュニティ・スクールの導入

令和7年度から、いすみ市の先行実施校として「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールとしての活動を開始しました。

地域コーディネーターを中心に、委員の皆様が学校運営へ積極的に参画していただくことで、地域との連携がより円滑になり、本制度の効果を実感しています。

今後も地域と一体となり、子供たちを育む「地域とともにある太東小学校」を目指して取り組んでいきます。



地域コーディネーターの活躍と学習ボランティアの協力

県内学級担任紹介

児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名： 芝山町立芝山小学校



担任名： 嶋田 俊之
教員経験： 6年目

(令和7年5月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

一人一人の個性が学級全体に理解され、子供たちが自分らしく過ごせる学級づくりを目指しています。教室にあふれる子供たちの笑顔や笑い声に、教師としてのやりがいを感じています。

授業で心掛けていること

子供たちが課題に取り組む際には、「自分で考えること」を大切にしています。授業づくりでは、話題のニュースや国際情勢、異文化理解に関する内容を積極的に取り入れ、より広い視野で物事を捉えられるよう工夫しています。

私の好きな「言葉」

「ไม่เป็นไร ไม・เพน・ライ」(タイ語)
～大丈夫、何とかなるさ～

【児童一人一人の個性を生かしみんなが主役になれる学級づくり】

千葉県で教員になる前に、フィリピン、シンガポール、タイの日本人学校で教員として勤務した経験は、現在の学級経営や授業づくり、児童理解などに大いに活かされています。生まれた場所や育った環境が異なる子供たちや保護者と共に、限られた時間や場所で何ができるかを考え、異国の地でいかに楽しく学校生活を送るかを大切にしてきました。

「学校生活は楽しいものである」ということを基本に、多様な個性をもつ 全ての子供たちが活躍でき、誰にとっても居心地のよい学級づくりを常に心掛けています。

【国際理解教育】

「外国の文化や生活について知ろう」

他国の文化について学習した際、導入の場面で、私自身の体験も交えながら、タイの文化や日本人学校の教育などについて紹介しました。「水かけ祭り」や「通年の水泳学習」に子供たちは驚きの声を上げていました。

教師の実体験を通して異文化の事例に触れることで、自分たちの生活との違いや共通点に気付き、学習を深めていく姿が見られました。

【キャリア教育】

「子供と世界と夢」

小学校の段階は「進路の探索・選択に係る基盤形成の時期」であると考え、私が教員になるまでの経緯を話題として取り上げました。夢を持ち、夢を追い続けることの楽しさを伝えると、子供たちは真剣な表情で耳を傾け、自分の将来について考えを巡らせている様子が伺えました。

タイはどんな国？
タイの日本人学校は
どんな学校？



「タイの学校に図書館を建てよう！」
大学4年生で「チャイヤブーム県」
の学校へ。



子どもも村の人もみんなが
喜んでくれた。